

農業において、「土づくり」は基本中の基本！  
特に水稲では、『けい酸』が健全なお米づくりに重要な働きをしています。  
けい酸は作物を健全に生育させる効果があり、すき込んだ稲わらからもある程度は供給されますが、足りない分は土づくり肥料で補給する必要があります。  
そこで来年に向けた、より良い稲作の為に必要不可欠な「とれ太郎」をご紹介致します。



営農経済課  
藤井 拓也



# 土づくり肥料で、健康な土とお米を!!

## 1 病害虫に強くなります!

けい酸が葉の表皮細胞に蓄積し、「けい酸」の鎧で稲を守ります。  
そのため、病害虫や病害菌が稲に入れず、悪さができなくなります。

## 2 丈夫な稲をつくります!!

けい酸を吸収した稲は組織が丈夫になります。  
葉が直立すると稲の受光態勢が良くなり、しっかりしたおいしいお米を収穫できます。

## 3 夏の暑さにも負けません!!!

夏になると夜も高温が続き、イネが呼吸することによりデンプンが消費されてしまいます。  
稲の体力が消耗すると、登熟に必要なデンプンが不足し、乳白米等の高温障害の発生につながります。  
稲に太陽の光をたくさん与える事で、光合成が活発になり、稲の高温障害を軽減できます。

そこで「けい酸」を豊富に含んだ土づくり肥料はコチラ!!

## とれ太郎



20kg / 1,858円(税込)

- 従来のものより、けい酸の吸収率が高いので、省力化につながります。
- 保証成分のほかに、鉄・マンガン・亜鉛など、微量元素を含んでいますので、水稲を健全に育てます。
- 雨による成分の流亡が少ないので、収穫後の秋施用がオススメです。

保証成分(%)				その他含有
りん酸	苦土	けい酸	アルカリ分	石灰・鉄
6	12	30	40	
施用量 (10アールあたり)				3~5袋 (60~100kg)

※投入量は基準値です。詳しくは本店営農経済部までお問い合わせください。

※価格は当時のものとなります。